

RC EYE OneLINK クイックスタートガイド

お使いになる前に必ずお読みください

この度は、RC EYE OneLINK をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書をご覧になり、本製品の機能や操作方法を正しくご理解くださいますようお願いいたします。また、お客様が製品を第三者へ譲渡するときは、本書も一緒にお渡しください。

安全のために



下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危険が発生することがあります。
このようなケースは保障の対象になりません。

製品について

- > 本製品はおもちゃではありませんので、14歳以下のお子様には使用させないでください。
- > お子様やペットの手の届く場所に保管しないでください。
- > 故障の原因になりますので、水に濡らしたり、高湿度の場所での保管はお止め下さい。また、温度差の激しい場所にさらすと結露が発生し、本製品の内部や外部に水滴が付くことがあります。この状態でお使いになると故障の原因となりますので、電源を切って周囲の温度に十分馴染むまで時間を置いてください。
- > 直射日光に長時間さらさないでください。
- > 正常に動作していない、あきらかに破損していると判断できる状態で使用しないでください。

フライト前に

- > 本製品は無線 LAN 等のワイヤレス機器と同じ 2.4GHz 帯の電波を使用しています。フライトは電波影響のない場所でお楽しみください。
- > フライト前に必ず機体やコントローラに異常がないか点検してください。
- > 十分に充電された専用 Li-Po バッテリーをお使いください。バッテリーの残量は常に確認し、容量が不足した場合は説明書の指示に従って充電してください。
- > 意図しない動作を防ぐために、電源を入れる前にスロットルスティックが下側いっぱい倒れていることを確認してください。
- > 周囲の安全を確認してから、責任を持ってお楽しみください。
- > 本製品の性質上、お客様が製品を使用して発生した損害について、メーカーと販売元は一切の責任を負いません。

電池/バッテリーについて

- > 指定の電池以外は使用しないでください。
- > 電池のプラスとマイナスをよく確認して機器に装着してください。
- > 使用しないときは機器から取り外してください。取り外した電池はお子様やペットの手の届かないように注意してください。
- > 新旧、種類、銘柄の違う電池を混用しないでください。電池は一度にすべて交換してください。
- > ショートさせたり火中に投げ入れないでください。
- > 爆発の危険がありますので、充電できない電池は充電しないでください。

最新マニュアルのダウンロード

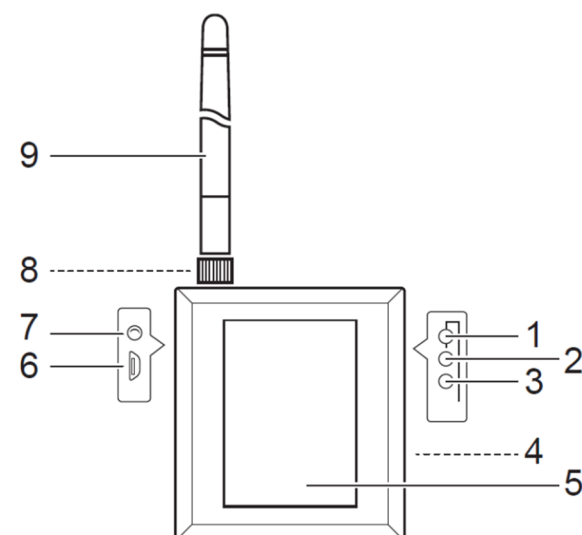
本書は英文取扱説明書の主要な部分を抜粋し、日本語に翻訳したものです。取扱説明書のすべての内容を含んでおりませんので、本書とあわせて英文取扱説明書もご覧いただくことをお勧めします。

最新版の英文取扱説明書は下記 URL より入手できます。
<http://www.rclogger.com/Support/Downloads/Manuals-Datasheets/>

パッケージ内容

- 1x RC EYE OneLINK
- 1x 2.4GHz アンテナ
- 1x フタバタイプトレーナーケーブル
- 1x JR タイプトレーナーケーブル
- 1x microUSB ケーブル
- 2x 単4乾電池
- 1x 取扱説明書

各部の名称



1. 電源ボタン
2. バインド(B)ボタン
3. ラーニング(L)ボタン
4. バッテリーケース
5. ボディ
6. microUSB 端子
7. ステータス LED
8. アンテナコネクタ
9. アンテナ

OneLINK の設定



OneLINK は各社のプロポで RC EYE One シリーズのコントローラを可能にするアダプタです。
OneLINK を使用する場合は、プロポが電波を発射しないよう設定する必要があります。詳しい情報はお使いのプロポの取扱説明書を参照してください。

OneLINK をお使いになるには、以下の条件を満たす機器が必要です。

- > プロポ
 - » 6チャンネル以上 (7チャンネル以上推奨)
 - » 3ポジションスイッチ x2
 - » 2ポジションスイッチ x1
- > OneLINK 接続ケーブル(OneLINK に同梱されています)

プロポの事前設定




JR PROPO 製のプロポを例に説明します。
他社製プロポの場合は、お使いのプロポの取扱説明書を参照してください。

1. 飛行機タイプで新しいモデルメモリを作成します。
 - > トレーナー機能の設定は変更しないでください。またプロポのトグルスイッチがすべて上/奥側になっていることを確認してください。
2. 以下のようにチャンネルとスイッチを割り当てます。
 - > チャンネル5：AUX-1：3ポジションスイッチ (ビギナー/スポーツ/エキスパートモード)
 - > チャンネル6：AUX-2：3ポジションスイッチ (アクロバット/ノーマル/高度保持モード)
 - > チャンネル7：AUX-3：2ポジションスイッチ (トリガー ※必須ではありません)
3. プロポの電源をオフにします。
4. OneLINK をトレーナーポートに接続すると、プロポの電源が自動的にオンになります。
5. OneLINK にバッテリーをセットします。
6. OneLINK に同梱の接続ケーブルで、OneLINK とプロポのトレーナー端子を接続し、OneLINK の電源をオンにします。



サーボモニター機能などを利用して、プロポのスティックとトグルスイッチがすべて機能するか確認してください。
スティックやスイッチを操作しても機能しない場合、その操作はプロポの設定で無効化されているかもしれません。


OneLINK のチャンネル割り当て設定



安全のため、設定を始める前にプロペラをすべて取り外してください。設定が正しく終わるまでプロペラは取り付けないでください。

1. 準備

- > OneLINK の電源をオンにします。(電源ボタンを 3 秒以上長押し)
- > OneLINK がプロポのトレーナー端子に接続されているか確認します。
- > プロポのトグルスイッチをすべて「オフ」の位置に、スロットルスティックを最スローにします。



OneLINK は、その設定ステップが完了するとビープでお知らせします。ビープが鳴ったら次の設定ステップに進んでください。

2. OneLINK のステータス LED が 1 回点滅を始めるまで、OneLINK 側面の (L) ボタンを押し続けます。

- > ビープ(♪)が鳴り、ステータス LED が 1 回点滅の状態になります。

3. スロットル設定(チャンネル 1)

- > スロットルスティックをフルスロットルにし、最スローに戻します。
- > ビープ(♪)が鳴り、ステータス LED が 2 回点滅の状態になります。

4. ラダー設定(チャンネル 2)

- > ラダースティックを左に倒し、センターに戻します。
- > ビープ(♪)が鳴り、ステータス LED が 3 回点滅の状態になります。

5. エレベータ設定(チャンネル 3)

- > エレベータスティックを上倒し、センターに戻します。
- > ビープ(♪)が鳴り、ステータス LED が 4 回点滅の状態になります。

6. エルロン設定(チャンネル 4)

- > エルロンスティックを左に倒し、センターに戻します。
- > ビープ(♪)が鳴り、ステータス LED が 5 回点滅の状態になります。

7. AUX-1 設定(チャンネル 5)


- > AUX1 スwitch を 1-2-3 と操作し、1 の位置に戻します。
- > ビープ(♪)が鳴り、ステータス LED が 6 回点滅の状態になります。

8. AUX-2 設定(チャンネル 6)



- > AUX2 スwitch を 1-2-3 と操作し、1 の位置に戻します。
- > ビープ(♪)が鳴り、ステータス LED が 7 回点滅の状態になります。

9. AUX-3 設定(チャンネル 7)


- > AUX3 スwitch を 1-2 と操作し、1 の位置に戻します。



チャンネル 7 の設定ステップで、5 秒以上入力がないと設定は自動的に終了し、チャンネル 7 は無効となります。(6 チャンネルプロポの場合など)

モード	チャンネル	ポジション	機能
AUX-1	チャンネル 5	1 2 3 	1: ビギナーモード 2: スポーツモード 3: エキスパートモード
AUX-2	チャンネル 6 ※1	1 2 3 	1: 高度保持モード 2: ノーマルモード 3: アクロバットモード
AUX-3	チャンネル 7 ※2	1 2 	1: トリガーオン 2: トリガーオフ

※1 RC EYE One S ではノーマル/アクロバットモード切り換えのみとなります。
※2 RC EYE One S では使用しません。



スポーツモードでフライトを始めるには、スロットルスティックが最スローにあることを確認し、AUX-1 と AUX-2 スwitch をセンター(ポジション 2)にします。

OneLINK と機体のバインド

- OneLINK の電源をオンにします。(電源ボタンを 3 秒以上長押し)
- 機体に充電済みの Li-Po バッテリーを接続します。機体のステータス LED が緑に点灯し、OneLINK のステータス LED はゆっくり点滅した状態になります。
- 機体のステータス LED が緑/赤の点滅になるまで、機体のバインドボタンを押し続けます。
- OneLINK の (B) ボタンをビープ(♪)が鳴るまで押し続けます。
- 機体のステータス LED がフライトモードの色で点滅したら完了です。

OneLINK の設定の確認



【重要!】初フライトの前に機体を水平な場所に置き、テスト 1 を必ず実行してください。

テスト 1 - ジャイロのリセット

- > エルロンスティックを右に、エレベータスティックを上倒します。
- > 機体のステータス LED が緑に点灯し、ジャイロがリセットされます。


テスト 2 - オリエンテーション LED のオン/オフ

- > エルロンスティックを右に、エレベータスティックを下倒します。
- > オリエンテーション LED がスティックの操作毎に点灯/消灯を繰り返します。

テスト 3 - フライトモード切換え

- > スロットルスティックが最スローになっていることを確認し、チャンネル 5 に割り当てたスイッチを操作します。
- > スwitch 位置によってステータス LED が変化することを確認します。
 - » ポジション 1 = 緑(ビギナーモード)
 - » ポジション 2 = オレンジ(スポーツモード)
 - » ポジション 3 = 赤(エキスパートモード)

テスト 4 - アクロバット/ノーマル/高度保持モード切換え



テスト 4 はスポーツモードで行ってください。スロットルスティックが最スローにあることを確認し、チャンネル 5 に割り当てたスイッチ(AUX-1)をポジション 2 にします。

- > チャンネル 6 に割り当てたスイッチ(AUX-2)を操作します。
 - » ポジション 1 = ステータス LED が速い点滅(アクロバットモード)
 - » ポジション 2 = ステータス LED が通常の点滅(ノーマルモード)
 - » ポジション 3 = オリエンテーション LED が速い点滅(高度保持モード)

製品の破棄

製品や電池を廃棄/リサイクルする際は、お住まいの地方自治体の廃棄処分方法に従ってください。電池をリサイクルボックスや回収箱に入れる際には、電池がショートして発熱・発火する恐れがありますので、電池の端子部分にテープを貼って端子を絶縁してください。

法的な注意事項

この取扱説明書(以下、本書)のすべての内容は、CEI Conrad Electronic International (HK) Limited(以下、当社)の著作物として、著作権に関する各種国際条約、各国の著作権法およびその他の各種法律によって保護されています。当社に事前の承諾を受けた場合を除いて、一部か全部かを問わず本書の内容を複製(コピー、マイクロフィルム化、スキャン等の電子化を含むいかなる方法)、翻訳、転用、転載、配布、再版することはできません。また、本書の内容は事前に予告することなく改訂することがあります。
© 2014 by CEI Conrad Electronic International (HK) Limited.

日本国内における保証と免責事項

この製品は優れた品質管理のもとに製造されておりますが、流通の過程において予測不可能な故障が発生する場合があります。保証書に定められた期間内に不具合が認められた場合は、購入先へご連絡ください。

なお、以下の場合には保証の対象になりません。

- > 誤った使用方法による故障、破損。(“安全のために”を参照ください)
- > 天災などの外部要因による故障、破損。
- > 輸送時における故障、破損。
- > 購入日が証明できない場合。

この製品の保証は日本国内においてのみ有効です。また、この取扱説明書は英文取扱説明書の内容を可能な限り反映するよう努めて作成しましたが、潜在的な誤りがあることは否定できません。本製品を使用して発生した損害等について、メーカー・販売元は一切の責任を負いません。